

2020年2月12日

各位

会社名 株式会社AKIBA ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
 (JASDAQ・コード番号 6840)
 問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
 (TEL. 03-3541-5068)

2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年9月19日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

2020年3月期 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	500	500	580	631.33
今回修正予想 (B)	12,500	600	600	650	707.58
増減額 (B - A)	0	100	100	70	
増減率 (%)	0	20.0	20.0	12.1	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	11,420	429	426	244	266.61

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、2019年3月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

第3四半期までにおいて、メモリ製品製造販売事業において、Windows7のサポート終了に伴うPCの買替需要により、例年であれば第4四半期に集中する傾向があるパソコン用メモリの需要が前倒しとなったこと、株式会社アドテックが販売代理店を務めるAMD製品の販売が新製品の発売もあり想定以上であったこと、並びに、通信コンサルティング事業において高付加価値案件が増加したこと等で、売上高が伸び、利益率も高い水準となりました。他方で、第4四半期において、来期以降の更なる業績拡大に向けたオフィスの大規模増床、就労環境の整備並びに採用等的人資源への投資を行うことによる販売費及び一般管理費の一時的な増加を見込んでおります。

これらの結果、売上高につきましては、株式会社モバイル・プランニングの第2四半期末の売却、メモリ価格の低位安定による売上高の減少要因があったものの、AMD製品の販売好調、通信キャリア向け通信建設工事の堅調な推移等が見込まれること等から、当初予想の数値を据え置くことといたしました。

また、各段階利益につきましては、上記のとおり投資を行うものの、第3四半期において前回

発表予想の水準に達しており、加えて、第4四半期においても、AMD製品の販売好調、通信キャリア向け通信建設工事の堅調な推移等が続き、各セグメントにおいて利益の計上が見込まれることから、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以 上